

件名 まつど未来づくり会議 第1回 全体会 会議録(要旨)
日時 平成21年8月7日(金) 15:30~19:00
場所 議会棟3階特別委員会室
出席者 まつど未来づくり会議 委員 69名(欠席 3名) 別紙
傍聴者数 6名
議題 第1回全体会
・まつど未来づくり会議の趣旨、概要の説明
第1回分科会
・分科会に分かれてのグループ検討
・全体発表
・総括
・閉会

配付資料

1. まつど未来づくり会議設置要綱
2. まつど未来づくり会議 委員名簿
3. まつど未来づくり会議の概要
4. 分科会ワークブック
5. 松戸市に関する情報提供 ～基礎編～
6. 松戸市の未来を考える市民フォーラム(未来フォーラム) 概要報告書
7. 松戸市総合計画 概要
8. 松戸の強みと弱みを考えるデータ集
9. 松戸市 総合計画後期基本計画づくりのための市民ニーズ調査 報告書 前編・後編
10. 松戸市人口推計

会議概要

<まつど未来づくり会議 第1回全体会>

【会議の説明】

- ・会議を始めるにあたり、次のことを全会一致で決定した。
 - －会議を公開とすること。
 - －議事録は、全体の会議については、議長の承認、各分科会については、各分科会長の承認を得てから公開すること。
 - －記録用ビデオ、写真の撮影を許可すること。

【まつど未来づくり会議の趣旨、概要の説明】

- ・資料3「まつど未来づくり会議の概要」に沿って、事務局より説明。

<まつど未来づくり会議 第1回分科会>

【分科会に分かれてのグループ検討】・・・各分科会会議録を参照。

【全体発表】

○福祉分科会

- ・ このテーマは健康に暮らせることが出来るとか、安心して子育てでできる、市立病院のことなどです。子育てや、福祉に携わって活動されている方から、具体的で面白い意見が出ています。
 - 例えば、健康に暮らせる、生まれてから、高齢者で介護が必要になるまで、地域の人と関わりを持って、ずっと亡くなるまで松戸で暮らしたい、そのための施策が必要だというようなことです。
 - また、市立病院は、地域にある病院として価値がある、大事な病院と思っている。どういう病院がいいのか、地域の人と話しながら考えていくことが大切だというような意見がありました。

○地域連携分科会

- ・ こちらは、市民と行政の協働を推進するというテーマで、自立する市民と行政が対等に、新しい関係を構築する。そのためには、協働のまちづくり条例、これを市民が是非理解してもらいたい。それと同時に、条例、手続きを簡素化して、協働事業が増えて欲しいという思いがあります。そのために市民のレベルアップ、NPOのレベルアップが必要であり、最後に行政の横の連携もお願いしたい。
- ・ 人権については意見が少なかったですが、全ての人に参加しやすい地域活動、子育てのサポートを行政と市民が協力して、女性が差別されない社会、外国人の市民が協力しながら、多文化を共有する街、外国人、女性、子育て、住みやすいまちづくりにしていきたいと思っています。

○都市と産業分科会

- ・ 全体の考え方としては、時代の流れを考えて、高齢化社会に対応したもの、少子化対策、若者が元気で松戸に戻ってこられる、サラリーマンになった後、松戸に帰ってきてやれることがある場を提供する地域にしたいと思っています。具体的には地域の産業の面では、商工連携による活性化、周辺の地域の商店街を活性化するといったことです。高齢化が進むことによって車に乗って買い物に行くのが出来ないの

で、近場で日常的な買い物を年配の人が安全に出来る、それをまちづくりの基本とするなどという意見が出ました。

- 江戸川河川敷、矢切のネギ畑ありますが、高級料亭向けのものだけでなく、矢切の渡しを越えて、ブルーベリー、ラベンダーの畑を作って、観光農園にする、体験型農業が出来るようにする、ものをつくって販売して、地域産業、町おこしに貢献するという考えも出てきました。
- 移動手段としては交通安全。基本的に広い道路がないという事もありますし、安全で移動できるハード面も有りますが、ソフト面で、自転車専用道路など人に優しい施設をつくるという考えがありました。
- 河川が憩いの場になるように、緑道をつくったり、洪水の少ない安全な河川環境をつくるという意見が出ました。
- 北小金の市営水道については、安全に水を確保するという意見が出ています
- 自然災害に対する、防災、洪水に対する安全な街をつくる、もう少しきめ細かくまちづくりを進めるという意見が出ました

○生活環境文化会

- ・ まず、災害に対する不安の具体的な話しとして、江戸川の河川敷は避難して大丈夫なのか、市のハザードマップをもっと分かりやすくという話しができました。また、行政だけに頼るのではなく、もっと市民も積極的にという提案も出ました。
- ・ 環境、地球の温暖化は難しいテーマですが、具体的に我々が分かるように行政側も情報を出して欲しい、なぜ、CO2 を減らすのかといった話も出ました
- ・ 子ども達の安全、お年寄りの方の安全、そのあたりをもっと議論した方がいいのではないかという話もでました。

○都市経営分科会

- ・ 財政が全部負担できないので市民の力を取り込もう、人材も色々いるので活用してやっていったらいいのではないかという話がありました。また、ニーズも若い世代の意見も聞かないといけないのではないかという意見がありましら。
- ・ 「財産を適正に配分する」の中では、松戸市の財政状況について、小学生にも分かるような説明責任がある、皆さんが分かった上で、

要望を出してもらおうという意見がありました。また、窓口対応の職員に、高スキルで高額な人が必要なのかという意見もありました。税金を確保するために、サラリーマンの収入だけではなく、松戸市の中に収入を確保できるように誘致するといった話や、人を育てていこうと、こういう事にも財源を配分するべきとの意見もありました。また、人材育成、適材適所、行政の内容を変える必要ありますという話もありました

○教育分科会

- ・ ほとんど教育と文化に携わっている人の集まりでした。子ども達が自らの目標を持ち、実現に必要な知識を得られる、生涯学習を出来る、松戸の伝統を後世に伝えられるようにする、だいたいこの3つの中に皆さんの意見が入っていました
- ・ 小さいときから、課外授業で趣味を見つけられたり、教えられるコミュニティがあるといいんじゃないかという意見がありました。また、生涯学習、スポーツを楽しむこと、昔は小さい方から、大きな方、年代関係なく楽しむことが出来たので、そうしたことが出来る会館でも1つあればいいというような意見もありました。外国で、日本の文化は何ですかと聞かれても、なかなか答えられない状況があります。外国にも知識を広めて海外でも活躍出来るものを教えた方がいいんじゃないかという意見がありました。そして、文化、伝統、歴史、言葉も、先ず、学校・地域・行政が、力を合わせて、小さいうちからやっていくことで、お年寄りになっても、地域にとどまって楽しめるのではないかという話しになりました。

【総括】

○大住議長からの感想

- ・ これだけ、自由に想いが語れる分科会は、他の自治体ではないと思う。
- ・ いろんな想いや意見ができているが、これは、未来フォーラムに参加したけれども、今回は参加できなかった人の想いやその他の多くの市民の想いが集約されてきているのではないかと思う。
- ・ これから、分科会でいろいろな想いを集めて、表現していくわけですが、この分科会での話し合いが、松戸の未来の年表をつくる話し合いの場になって欲しいと思う。

○中村副議長からの感想

- ・都市経営分科会に参加していたが、色んな意見が出て、これでまとまるのかなと少し心配なところもあったが、11月の全体会の際に他の分科会より良い発表をしたいと思った。
- ・話し合いの進め方が、フレームにそって進むので、決められた枠の中で話し合っているという印象もあるが、我々委員が、その枠を超えるような提案もしていければいいのではと思った。お互い頑張りましょう。

【閉会】

以上